

# 特定非営利活動法人シンコーション賃金規程

## 第1章 総 則

### 第1条（目的）

本規程は、就業規則第33条に基づき、従業員の賃金に関する事項を定めるものである。

### 第2条（適用範囲）

本規程は、就業規則第2条に定める全ての従業員に対し適用する。

### 第3条（賃金の種類）

賃金の構成は、次のとおりとする。

賃金	給与	基準内給与	基本給      【別表】
		基準外給与	交通費
		残業代	時間外労働手当 休日労働手当 深夜労働手当
	賞与    なし		

2 前項に定める基準内給与は残業代の計算の基礎とし、基準外給与は残業代の計算の基礎としない。

3 第1項に関わらず、労働基準法第41条に規定する監督若しくは管理の地位にある者、あるいは機密の事務を取り扱う者に対しては、時間外労働手当および休日労働手当を適用しない。

## 第2章 給与計算および支払い方法

### 第4条（計算期間および支払日）

給与の計算期間および支払日は、次のとおりとする。

給与計算期間	当月1日から当月末日
給与支払日	翌月15日

2 支払日が休日にあたるときは、その日前の直近の休日でない日に支払う。

### 第5条（給与の支払いおよび控除）

給与は、従業員が指定した本人名義の金融機関口座への振り込みによって支払う。

2 前項にかかわらず、次の各項目を給与から控除するものとする。

（1）源泉所得税、住民税

（2）健康保険料、厚生年金保険料、介護保険料、雇用保険料

（3）その他、控除する旨あらかじめ労使協定にて定めたもの

3 給与明細は、毎月の支払日以前に雇用主から配布する。

### 第6条（語句の定義）

本規程の給与計算における語句の定義は次のとおりとする。

語句	定義	端数処理	関連 条文
日単価	$(\text{基準内給与} + \text{基準外給与（通勤手当除く）}) \div \text{月平均所定労働日数}$	円未満 四捨五入	第9条
時間単価	$(\text{基準内給与} + \text{基準外給与（通勤手当除く）}) \div \text{月平均所定労働時間}$	円未満 四捨五入	第10条
割増時間 単価	$\text{基準内給与} \div \text{月平均所定労働時間}$	円未満 四捨五入	第15条

月平均所 定労働日 数	年間所定労働日数÷12	—	—
月平均所 定労働時 間	所定労働時間×月平均所定労働日数	—	—

2 本規程の給与計算に使用する時間数の単位は次のとおりとする。

区分	単位	関連 条文
遅刻時間数 早退時間数	1分単位	第10 条
法定内残業時間数 時間外労働時間数 休日労働時間数 深夜労働時間数	一給与計算期間におけるそれぞれの合計時間数について、30分未満の端数は切捨て、30分以上の端数は1時間に切り上げる	第15 条

#### 第7条（休職中の給与）

就業規則により休職を命ぜられた期間については、基本給および諸手当を支給しない。

#### 第8条（休暇休業等の給与）

就業規則の年次有給休暇および就業規則第29条の慶弔休暇を取得した場合は、出勤したものとして、「通常の賃金」を支給する。

2 事業所の責に帰すべき事由により休業したときは、休業手当を支給する。休業手当の額は「平均賃金」の6割とする。

#### 第9条（中途入社、退職者等の給与計算）

基本給を月給で支給を受ける者で、給与計算期間の途中に入社、退職等した従業員の給与については、給与の日単価に出勤日数を乗じて求める。

## 第10条（遅刻、早退、欠勤による給与の減額）

遅刻、早退については、給与の時間単価に遅刻、早退の月合計時間数を乗じ、給与から差し引くものとする。

2 欠勤については、給与の時間単価に所定労働時間数及び欠勤日数を乗じ、給与から差し引くものとする。

## 第3章 基本給および手当

### 第11条（基本給）

基本給は、従業員ごとに年齢、勤続年数、勤務成績、能力等により決定し、労働条件通知書に定める。

2 基本給は、次の区分により支払うものとする。

（1）正社員

（2）パートタイマー社員

### 第12条（基本給の改定）

基本給の改定（昇給、据置、降給）は、原則として毎年4月1日に行うものとし、各人の勤務成績、能力等、および会社の業績に応じ改定額を決定する。

2 前項にかかわらず、会社の判断により臨時に基本給の改定を行う場合がある。

### 第13条（通勤手当の支給）

通勤手当は個別に支給する。（正規職員のみ）

### 第14条（残業代）

残業代は、次の労働に対し支給する。

（1）法定内残業 : 所定労働時間を超え法定労働時間以下の労働

（2）時間外労働 : 法定労働時間を超える労働

（3）休日労働 : 法定休日の労働

（4）深夜労働 : 深夜時間帯（22時から5時）の労働

2 残業代は、次のとおり算定し支給する。

（1）法定内残業手当 = 割増時間単価 × 100% × 法定内残業時間数

（2）時間外労働手当 = 割増時間単価 × 125% × 法定時間外労働時間数

（3）休日労働手当 = 割増時間単価 × 135% × 休日労働時間数

（4）深夜労働手当 = 割増時間単価 × 25% × 深夜労働時間数

別表

特定非営利活動法人シンコペーション

基本給（月額）単位：円

号	基本給		号	基本給		号	基本給		号	基本給		号	基本給
1	88,000		18	150,000		36	195,000		53	250,000		70	315,000
2	92,000		19	154,000		37	196,000		54	252,000		71	320,000
3	96,800		20	156,000		38	200,000		55	255,000		72	322,000
4	100,000		21	156,400		39	202,400		56	256,000		73	330,000
5	101,200		22	160,000		40	204,000		57	264,000		74	336,000
6	110,000		23	165,000		41	208,000		58	266,000		75	345,000
7	110,400		24	165,600		42	210,000		59	270,000		76	350,000
8	119,600		25	168,000		43	211,600		60	272,000		77	352,000
9	120,000		27	170,000		44	216,000		61	276,000		78	360,000
10	124,000		28	174,800		45	220,000		62	280,000		79	368,000
11	128,800		29	176,000		46	220,800		63	285,000		80	375,000
12	130,000		30	180,000		47	224,000		64	288,000		81	384,000
13	132,000		31	182,000		48	225,000		65	288,000		82	400,000
14	138,000		32	184,000		49	228,000		66	294,000			
15	140,000		33	190,000		50	230,000		67	300,000			
16	144,000		34	192,000		51	238,000		68	304,000			
17	147,200		35	193,200		52	240,000		69	308,000			

別表

基本給（時間給）単位：円

号	基本給		号	基本給
1	1,000		8	1,700
2	1,100		9	1,800
3	1,200		10	1,900
4	1,300		11	2,000
5	1,400		12	3,000
6	1,500		13	4,000
7	1,600		14	5,000

## 附則

本規定は、令和4年4月1日より適用する。

本規定は、令和5年4月1日より適用する。

本規定は、令和7年1月24日より適用する。